

承認番号	3073
研究課題名	頸椎椎弓形成術が隣接椎間に及ぼす画像変化に関する検討
研究の意義・目的	頸椎椎弓形成術や頸椎前方固定術は頸椎症性脊髄症による神経障害の患者様に広く施行される手術方式です。本研究では、頸椎椎弓形成術後に生じる隣接椎の可動域、椎間板変性および黄色靭帯肥厚を計測し、頸椎前方固定術後の画像変化と比較検討することを目的とします。また、歯突起後方軟部組織の厚みを計測し、術後の肥厚増大と関連する因子を検討します。
研究期間	2015年03月03日 ~2019年03月31日
研究対象者の範囲	当院、当科にて頸椎症性脊髄症の診断にて頸椎椎弓形成および頸椎前方固定を施行した患者様を対象とします。
利用又は提供する試料・情報の項目	病状と術後成績にかかわるアンケート調査結果と関連する情報を診療録から抽出し研究に利用させていただきます。身長、体重、既往歴、併存症、合併症などの背景因子やX線検査やCT、MRI検査などの画像情報がそれに含まれます。
利用者の範囲	得られた情報は自施設のみで利用します。これには、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。
研究機関の情報	(該当しません)
代表施設のURL	(該当しません)
試料・情報を公表する方法	国内外の整形外科や脊椎疾患を中心とした学術集会や学術誌にて報告することで情報を公開します。この時、個人情報特定される事はありません。
試料・情報の提供方法	(該当しません)
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 豊田宏光、堂園将
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究組織：大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 住所：545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 電話：06-6645-2121 研究代表者：豊田宏光、堂園将